

広報 なまきじん

No. 99

1984年2月

村章

(毎月1日発行)



▲仲原馬場の松を防除

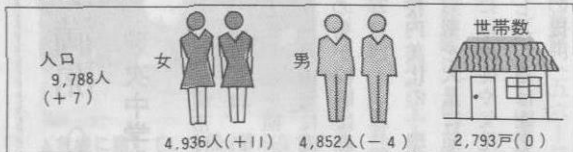
松クイ虫の被害がおびただしい。樹齡数百年を経た松が赤くなり枯れていくのは見るに忍びない。

村教育委員会では、被害を重視し馬場の並木の防除にのり出した。方法は、幼虫の発生を防ぐためドリルで松の根や幹に穴をあけ、グリーンガードという薬品を注入するもの。それでもすでに被害にあった樹は救いようがないのだという。

共有財源の自然を守るため、被害木を発見したら村役場まで連絡を——と、係では呼びかけているのだが……。被害はまだまだ広がりそうだ(関連記事三面に)。

今帰仁村の人口

昭和58年12月31日現在



今月の主な内容

- 二 地域性を生かした畜産の向上をめざし 県畜産試験場が諸志に落成
- 三 七・四ヘクタールを整備 吳我山土地改良区 理事長に仲松弥貞氏
- 四 新春を走る 第六回マラソン大会に四七〇人が出場 自信と誇りと勇気を持って 一四〇人が大人の仲間入り
- 五 あなたは今帰仁村に住んで どのように感じていますか 国土利用計画策定のアンケートから② 村民コーナー私の一言 宇古宇利一二〇四 照屋タツ子(三十一歳) 八九百按司墓(ムムチャナハカ) 本格的な調査と保存対策が急務
- 六 「若き後継者たち」⑨ 未知の世界・養蜂にいとむ 湧川の玉城正富さん
- 七 十一年金権確立に明るいきざし 老後の設計は国民年金で

地域性を生かした畜産の向上をめざし 県畜産試験場が諸志に落成

昭和五十二年二月から移転整備事業が進められてきました沖縄県畜産試験場(上里宣治場長)が、昨年四月本村諸志猪の平山中腹に全面移転。同時に業務が

一時から行われ、西銘知事、関谷農林水産技術会議事務局長、小林総合事務局長ら国・県関係者、それに村からの関係者合わせて三百人が出席。テープカット、除幕式、記念植樹の後、式典、祝賀会があり、完成と今後の発展を祈念しました。

新しい試験場は総面積四六・七ヘクタールで、うち建物敷地四・五ヘクタール、試験ほ場四・六三ヘクタール、採草地十・三二ヘクタール、放牧地八・八五ヘクタール、道路及び緑地帯一・四ヘクタール。また施設としては、共同実験室、間接



西銘知事らによる除幕式

開始されてきました。同試験場は南風原町新川から移転したもので、これまでの事業費は国庫補助・県負担を含め約十八億円。落成式は一月二十六日午前十

検定牛舎、精液処理室、育成牛舎、繁殖肥育牛舎、育成豚舎などが配置。現在の飼養は、肉用牛九六頭、乳用牛二七頭、豚一〇頭となっています。

同試験場では、今後沖縄の特性を生かした畜産の技術体系確立のための試験研究に取り組みこととしており、今後の試験研究課題として、
①夏季高温における家畜の生産生理の究明と防暑対策
②家畜の繁殖、肥育技術の確立
③家畜人工受精技術の確立
④家畜の産肉能力検定試験の推進
⑤畜産業と新種農業との有機的結合による複合化技術体系の

- ⑥亜熱帯地域に適する牧草と育種
- ⑦牧草の適品種の選定及び栽培技術の確立
- ⑧草地造成及び維持管理技術の確立
- ⑨暖地型牧草の品種と微量栄養及び土壤養分の収奪性に関する調査研究
- ⑩粗飼料の安定的高位生産及び貯蔵利用技術の確立
- ⑪低利用、未利用資源の有効利用技術の確立
- ⑫家畜ふん尿処理利用技術の確立

兼次中学校(東江慶市校長、生徒数一〇一人)では、昨年十一月に小菊五千本余を植え付けしたが、それが一月中旬に満開。色とりどりの菊が校庭に春を付けている(写真)。

菊が満開

兼次中学校



整然と咲く菊は見る人の心を引きつけなごませる。同時に、子どもたちが花のように健やかに成長し見事に開花してほしい、という父兄や先生方の願いが込められているのかも知れない。

農産物の増産をめざし 7.3ヘクタールを整備

呉我山土地改良区
理事長に仲松弥貞氏

農業経営の合理化と農産物の増産に寄与することを目的とした呉我山土地改良区が、一月十七日県知事より認可されました。それを受け、第一回総会が一月二十四日午後二時から呉我山公民館で行われました。同地区では、昭和五十七年三月から基盤整備事業の説明会、先進地視察推進協議会を開催し設立に備えたもの。事業の実施により、経営規模の拡大、生産性の向上、農業構造の改善に大きく役立つ

ものと期待されています。総会では、経過報告の後議事に入り、五十八年度の収支予算、賦課徴収、役員選出があり、その結果理事長には仲松弥貞氏(字呉我山四八八)が選出されました。同地区は、呉我山の三謝原、西アザナ原、古拝原、古呉我原中山原に位置し、これまでさとうきび、菊などが生産されていましたが、低地の湿地帯のため生産性が低く、機械導入にも困

難をきたしていたものです。組合員は三十人で、受益面積は七・三ヘクタール。総事業費は一億一千七百万円(外に事務費として百七十五万五千円)で、内訳は国庫補助七千八百万円、県補助千九百五十万円、村補助千八百八十一万円、受益者負担八百六十一万九千円となっています。なお工事完了は六十年七月の予定。写真下―役員選出などを行った第一回総会



大切にしよう 教育委員会で マツカイ虫を 村民の遺産

仲原馬場は一九五九年に県の史跡指定を受け、八三年に「社団法人・日本の松の緑を守る会」より百選の選定を受けています。このように史跡としての価値はもとより、松の大木も素晴らしい景観を呈しており県下でも有名などころです。

促進しており注意を促したいものです。これまでに自然死を含めて何本かの大きな松が枯れましました。馬場とともに松は村民の大きな遺産です。みんなで保護をしていくことを考えるべきです。

現在まで教育委員会により、清掃管理など景観保全が図られてきましたが、最近「駐車場」の態を見せ景観上からも好ましいものはありません。松の根の直上あるいはすぐ近くに駐車する方も多く、枯死の一原因を

さて、これまで本島中部を中心に広がっている松くい虫による被害が、今婦仁でもすでに発生している現状にあります。被害を事前に防止する目的で、教育委員会で去る一月中旬から緊急事業として薬剤による防除作業を実施しているところ

す(表紙参照)。実態調査により、すでに連天ノ諸志部落にまで広がって被害を受けていることが判明しています。松くい虫はサイセン虫と呼ばれるもので、この虫はマダラカミキリ虫に付着し、その飛翔により媒介されるものです。先ずねらいとするのは最も高い松で、次第に害を増大させ、最後は低木へ移動していく性質のもので、サイセン虫は木の導管部に侵入、地下からの上昇水分を完全に止める作用をします。これにより松は枯れます。山々に点在する枯松で、一見松の紅葉化を呈するのは、この導管部に閉そく、脱水状態を起こさせることによるものです。松くい虫(サイセン虫)は当



▲危機に瀕している松、皆んなで保護したいものです。

初アメリカで発生、明治の初期頃九州の長崎に上陸、そこを基点に次第に全国的に広がっています。沖縄への上陸は海洋博時に始まります。これは、土木工事等の資材搬入に起因したものと考えられます。東南アジアではほとんどの松が枯死、現在フィリピン北部地方にわずかばかり残っているのが現状のようです。このようなすさまじい被害の増大化は、絶対にくい止める必要があります。被害木は伐倒、焼却処分を実施しないことには防止できないようなもので、多少の煩雑さがあります。村内で被害木を発見されましたら、村役場経済課林務係(五六―二二五六、二二〇一)までご連絡ください。

なお今回の防除は、四月〜五月にかけて発生、羽化する虫を封殺するのが目的で、予算額は六十万円余となっています。

新春を走る

第六回マラソン大会に四七〇人が出場



▲輝かしい未来に向かって走れ 21世紀の子どもたち

恒例の「第六回今帰仁村新春マラソン大会」(村体協主催)が、一月二日午後一時から役場前をスタートおよびゴール地点として実施された。大会は、競技人口拡大・体力向上と、村民の融和に役立てようというものが、一月二日午後一時から役場前をスタートおよびゴール地点として実施された。大会は、競技人口拡大・体力向上と、村民の融和に役立てようというものが、参加者も年々増えており、今年には四七〇人がエントリーされ、小学校、中学校、高校、一般、三十代、四十代、五十代の部門で覇を競った。また、年末から本村で合宿訓練中の奈良県ホッケーチームの全員も出場し、大会を盛り上げた。

恒例の「第六回今帰仁村新春マラソン大会」(村体協主催)が、一月二日午後一時から役場前をスタートおよびゴール地点として実施された。大会は、競技人口拡大・体力向上と、村民の融和に役立てようというものが、参加者も年々増えており、今年には四七〇人がエントリーされ、小学校、中学校、高校、一般、三十代、四十代、五十代の部門で覇を競った。また、年末から本村で合宿訓練中の奈良県ホッケーチームの全員も出場し、大会を盛り上げた。

第三回今帰仁庭球選手権大会

にご参加ください

庭球の底辺拡大と技術の向上並びに村民の親睦を図る「第三回村軟式庭球選手権大会」が、二月十二日(日)午前九時より北山高校(雨天の場合は湧小中体育館)で行われます。資格は、村民及び村内に職場を有する方で、高校生チームは村出身者を一人含むこと。対戦は、個人戦ダブルスとします。

組分は、中学一年男女、二年男女、三年男女、高校男女、一般男女、壮年の部は男子四十歳以上、女子は三五歳以上とします。出場希望者は、二月十二日(日)午前八時三十分までに体協事務局(諸喜田展生、TEL 五六一二二〇一)までどうぞ。

第3位までの順位

| 一般の部 | 順位 | 氏名 | タイム |
|--------|--------|--------|--------|
| 一般の部 | 1位 | 上間 哲男 | 35'28" |
| | 2位 | 西平 守降 | 37'08" |
| | 3位 | 浜里 良太 | 38'26" |
| 30代 | 1位 | 上里 光秀 | 39'11" |
| | 2位 | 玉城 政彦 | 40'37" |
| | 3位 | 平安 常康 | 42'47" |
| 40代 | 1位 | 新永 正男 | 17'57" |
| | 2位 | 永山 誠吉 | 18'14" |
| | 3位 | 仲本 光秀 | 18'47" |
| 50代 | 1位 | 上間 敏夫 | 16'00" |
| | 1位 | 宮里 晃 | 33'54" |
| | 2位 | 新山 恒 | 33'54" |
| 3位 | 山本 光力 | 33'58" | |
| 中学校1年 | 1位 | 上地 完光 | 11'10" |
| 2位 | 与那 那山 | 11'17" | |
| 3位 | 当山 邦彦 | 11'33" | |
| 中学校2年 | 1位 | 比屋根 章弘 | 10'22" |
| 2位 | 瑞慶山 良邦 | 10'33" | |
| 3位 | 瑞慶山 忠志 | 11'00" | |
| 中学校3年 | 1位 | 我那覇 隆文 | 9'39" |
| 2位 | 大大 城武 | 10'15" | |
| 3位 | 大大 城保 | 10'30" | |
| 中学女子 | 1位 | 仲伊部 利香 | 9'11" |
| 2位 | 山城 小夜美 | 9'12" | |
| 3位 | 幸地 泉 | 9'37" | |
| 中学2年女子 | 1位 | 宮里 由起子 | 8'39" |
| 小学3年男子 | 1位 | 大小波 祐介 | 4'02" |
| 2位 | 津波 正二 | 4'03" | |
| 3位 | 仲宗根 尚 | 4'04" | |
| 小学3年女子 | 1位 | 上原 泉子 | 4'08" |
| 2位 | 謝花 貴美 | 4'13" | |
| 3位 | 城裕 裕 | 4'24" | |
| 小学4年男子 | 1位 | 常嘉 隼人 | 3'41" |
| 2位 | 嘉陽 清司 | 3'42" | |
| 3位 | 嘉陽 清司 | 3'42" | |
| 小学4年女子 | 1位 | 嘉陽 千延子 | 3'58" |
| 2位 | 嘉玉 城 | 4'01" | |
| 3位 | 嘉長 嶺 | 4'19" | |
| 小学5年男子 | 1位 | 我那覇 秀樹 | 3'39" |
| 2位 | 与那嶺 貴誠 | 3'40" | |
| 3位 | 嘉陽 誠 | 3'41" | |
| 小学5年女子 | 1位 | 豊里 智志子 | 3'58" |
| 2位 | 我那覇 裕綾 | 3'59" | |
| 3位 | 嶺井 綾 | 4'08" | |
| 小学6年男子 | 1位 | 西平 守久 | 3'28" |
| 2位 | 西平 光哲 | 3'29" | |
| 3位 | 西城 哲 | 3'31" | |
| 小学6年女子 | 1位 | 仲里 弘美 | 3'54" |
| 2位 | 常銘 早苗 | 4'02" | |
| 3位 | 稲嶺 恵り | 4'19" | |

自信と誇りと

勇気を持って

140人が大人の仲間入り

大人になったことを祝い励まそう—という成人式。村でも一月十五日午後二時から村役場



▲さあ今日から大人だ。自信を持って歩もう。

ホールで行われた。今年の村内の新成人者は男子六九人、女子七一人で計一四〇人。会場は振袖とスーツ姿の若者で華やいだ。村歌斉唱の後、松田村長は式辞を述べ「社会が何をしてくれらるかに、自分が社会に何をできるかを考え行動してほしい」と激励。また新城選管長、大城教育長、玉城村議長、吉田県議がそれぞれあいさつを述べた。それに次ぎ、新成人者を代表して我那覇郁子さん(仲宗根一九一四)が「誇りと自信を持ち、社会に役立つ人間になりたい」と謝辞を述べた。



その後、アトラクションとして照屋千賀子さんの復活術、謝花喜富さんの空手演武が行われた。また、県文化課の金正武氏による「考古学からみた今帰仁の歴史(今帰仁城を中心として)」と題した記念講演があり、発掘が進む城跡の経過と合わせて村の歴史が語られた。

交響楽の魅力をまんきつ

第七回県民コンサート行われる

沖縄交響楽団(真栄城隆司団長以下五十人)による「第七回県民コンサート」(主催—沖縄県および今帰仁村)が、一月二十一日(土)午後七時から今帰仁中体育館で行われた。このコンサートは、県民にすぐれた音楽を鑑賞する機会を提供し、情操と意識を深めてもらうとともに、音楽文化の普及向上を図るうというもの。昭和五十五年から実施されており、主に離島や北部を主体として移動演奏して



さる会場の建設を」という意見も聞かれた。

五色操法などを披露

無火災を願う消防でぞめ式

一年の無事故・無災害を祈念する恒例の消防でぞめ式が、一月六日午前七時から村営グラウンドで行われた。

玉城村議長、西里本部署長、吉田県議もそれぞれ祝辞を述べた。それに次ぎ、与那嶺雄源消防団長は「温かい激励を受け身の引き締まる思い。今後も訓練を重ね、消防の発展に努めたい」と謝辞を述べた。

昨年一年間の救急出動件数は二一九件で一昨年比四四件の増、火災発生件数は八件で一昨年比七件の減となっている。今年二月、三月は火災の多くなる時期。くれぐれもご用心を。(写真—服装点検)

あなたは今帰仁村に住んでどのように感じていますか
国土利用計画策定のアンケートから



生活環境について

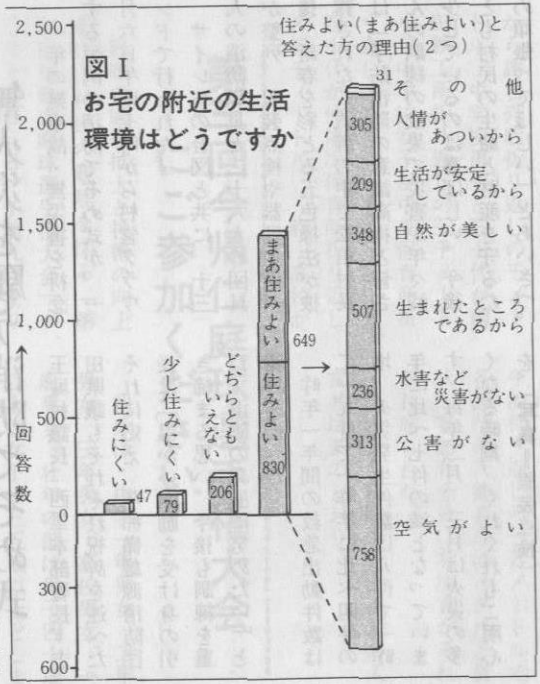
前号は今帰仁村全体に対する住み心地について、村民の感想を掲載いたしました。今回は似たような質問ですが、自分の住居のまわりの環境についてどう思っているかきいてみました。

図Iのとおり、ほとんどの方が住みよい、まあ住みよいと答えています。住みにくい、まあ住みにくいは一二六回答とわずかです。

住みよい、まあ住みよいの理由として空気がよい、生まれたところであるからとか、自然が美しいなどをおもにあげています。生活が安定しているからと答えた方は少ない。

その理由を字別にみた場合(紙面の都合で掲載していない) おおむね次のことが特徴としてあげられます。

空気がよい、自然が美しいなど自然環境のよさをあげているのは、玉城から西側の集落です。渡喜仁、崎山、平敷など平坦な集落か又は農地の広がりのある集落では、公・水災害に対する答えが比較的に高い。風水害の



影響を受けやすくそれだけ敏感なのでしょう。人情があつからには、古宇利、呉我山、諸志、今泊など集密居の集落で高い割合を示しています。

生活環境で困っていることは何かとの問いに対しては図IIのとおりとなっています。

汚水・ごみ・し尿の処理、街燈の不足、道路・交通、広場・公園、文化・娯楽・スポーツ施設と答えた人が多い。災害面、保育所・幼稚園、飲料水についてはさほど不自由、不安は感じていないようです。

字別にみると最も顕著なのは古宇利で、ごみ・し尿・汚水の処理、道路・交通の便に集中しています。し尿・じん介処理場がなく、離島のえ日頃の生活・排水の処理で悩んでいる集落は渡喜仁・今泊・越地等平坦な集落は排水の処理しにくい集落です。仲宗根は住宅が密集してスペースが少ないためか遊び場、文化・娯楽・スポーツ施設、公園、緑地を多くあげています。

自然のよさは村民みんなが共通に認識しているようです。これからも大切に守り育てていきたいものです。いい自然があるからか今帰仁の人はふるさと志向も強い傾向があります。

自然環境には満足しているものの道路、排水にはかなり不満を示しています。また街燈設置の要望も以外と大きいようです。



私たちの総代区古宇利は、沖縄県北部にある今帰仁村の北西に位置し、村唯一の離島です。運天港より毎日五往復の船便があり、十〜十五分間で島に着きます。主な産物は基幹作物であるサトウキビを始め、葉たばこ、カボチャ、スイカなどで、船便を利用して出荷するため農作物も限定されています。サトウキビについては価格はやや安定しているものの、収益性が低いため手取代金が少く、カボチャやスイカについては、その年または時期によって市場での価格の変動が大きく、計画生産ができません。

そこで私たちは、安定性のある葉たばこを、昭和五十一年度より「北部支部古宇利総代」と

たばこ作業を共同で実施して

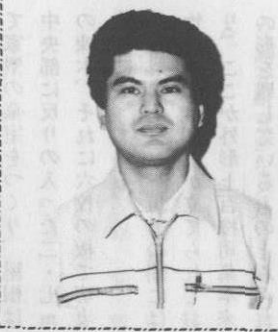
字古宇利二二〇四 照屋 タツ子 (三十一歳)

して結成し、耕作人員十九名でスタートしました。その間、若者達が島を離れたため高齢化する耕作者の後継者がなかったり、その他の事情で七名の耕作者がいました。現在十二名の耕作者ですが、どの耕作者も夫婦共に協力的で、専売公社が進めている共同作業問題にも、三〜四名単位のグループを作り、共同の出来るものと出来ないものに区別して作業が進められています。

共同で出来る作業は、(1)親床共同育苗 (2)子床については敷地の問題で各自の育苗ハウスでやっていますが、仮植作業等は共同作業で行っています。(3)本畑移植 (4)収穫吊込み (5)荷造り梱包の五項目で、その効果を上げています。特に本畑移植、収穫吊込み作業は、個人作業の場合子供の面倒さえ見ることができない現象でありました。たばこの移植機が各産地に導入され、能率を上げているようですが、当総代区の面積では経

係が変わりました 人事異動・新採用により

- 村および村教育委員会では、一月一日付けで機構改革に伴う人事異動を次のとおり行いました。()内は前職。なお今回の機構改革により、総務課・厚生課・住民課がそれぞれ一人づつの減、建設課が三人の増になりました。
- ▼建設課土木建築係長 仲村文治(昇任、建設課土木建築係)
 - ▼社会教育課文化財係長 松田朝雄(昇任、社会教育課文化財係)
 - ▼税務課住民税係 嘉陽宗信
 - ▼建設課(建設課)
 - ▼住民課戸籍係 新里幸信(税務課住民税係)
 - ▼建設課農林土木係 仲村健司(企画財政課企画係)
 - ▼建設課農林土木係 小那覇安隆(住民課戸籍係)
 - ▼企画財政課企画係 与那嶺シゲ子(出納室出納係)
 - ▼出納室出納係 大木隆枝(住民課戸籍係)
 - ▼中央保育所書記 喜屋武美津子(仲宗根保育所)
 - ▼仲宗根保育所調理人 玉城美代子(総務課)
- 村では、一月一日付けで建設課土木建築係として山城義光(二十八歳、仲尾次出身、名護市字名護四六八〇一二)を採用しました。村民の皆さんよろしくお願いいたします。



百按司墓(ムムヂヤナバカ) 本格的な調査と保存対策が急務

はじめに

百按司墓は、今帰仁村宇運天の運天原に位置し、崖の中腹にある。ムムヂヤナバカ・ムムヂヤナバカ、あるいは単にムムヂヤナと呼ばれる。琉球の古語を取録した「混効験集」(一七二一年)に、「も、ぢやら、諸の按司を云事」とあり、百按司墓の「ムムヂヤナ」は、「モモヂヤラ」から音韻変化してきたものといえる。この墓は、墓の名称からすると、諸按司、あるいはその一族を葬った墓ということになる。

すでに、村教育委員会・文化財保存調査委員会は、百按司墓を文化財指定への方向で調査を進めており、そのこともあって今回は、百按司墓の現況と文献を中心にみていくことにする。

百按司墓の現況

百按司墓へは、運天の村内(大北墓付近)から登っていくか、あるいは為朝上陸碑の入口から東より下って行ったところにある。崖中腹の自然の洞窟を利用した数基の墓があり、それらが百按司墓である。東側から三基までが、石垣で囲まれており、第四・五墓所(東側から第一・二・三……墓所とする)は、ベニヤでふさいである。シーモン博士の百按司墓の写生で、第四墓所は「板力門」になっている。運天では、板力門になった墓を今でもみることが出来る。最近、板力門の墓は、石やブロックで閉じられつつある。五基の墓所のほかに、第一・四墓所の上部に墓室が設けられているが、ここでは、石垣のある三基の墓所について現状を報告するにとどめたい。

(1) 第一墓所

数基の墓所のうちで、規模で最も大きく、高さ約一・八mの石垣を半円状に積み、漆喰で塗り固められており白っぽく見える。上部を開いた半円状の石垣正面には、二つの覗き穴が設けられている。石垣は、後世になってから積まれたものとみられるが、明治十五年には、すでに積まれていた。それは、明治十五年に国に提出された「白骨埋瘞之儀」の「見積書」に、石垣の修復に

用いた数基の墓があり、それらが百按司墓である。東側から三基までが、石垣で囲まれており、第四・五墓所(東側から第一・二・三……墓所とする)は、ベニヤでふさいである。シーモン博士の百按司墓の写生で、第四墓所は「板力門」になっている。運天では、板力門になった墓を今でもみることが出来る。最近、板力門の墓は、石やブロックで閉じられつつある。五基の墓所のほかに、第一・四墓所の上部に墓室が設けられているが、ここでは、石垣のある三基の墓所について現状を報告するにとどめたい。

ついて記されていることからわかる。覗き穴部分は、明治十五年当時入口として開いていたもので、修復工事に伴って閉じたものとみられる。石垣の内部には、自然の洞穴を利用し、そこにジャファン(ヘツカニガキ)を柱や屋根板に使い、切妻造りの墓室を組み立ててあったとみられる。現在、この原形は失われているが、屋根に使われた三・七mの反りの入った棟木と七枚の板、それに柱や壁に使われた材木が残っている。

そこに、人骨の入った朱色の漆塗りの木棺が残っている。この木棺の屋根部分は失っている。東恩納寛惇著「琉球の歴史」で紹介されているものと、同じ型のものともみられる。木棺の内側に、朱色の漆がウロコ状に剥げかかり辛じて残っている。早急な保存対策が必要である。同墓所に、ほかに二基の木棺の一部が残っている。その一基は、屋根部分はないが、脚(十本)のついた胴部分が残っている。胴部側面は、緑色を帯びている。もう一基は、胴部二面とそれに

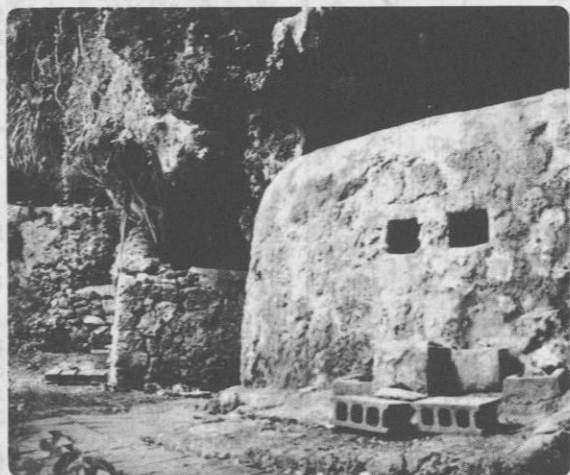
脚が二本ついた状態にあり、赤みを帯びている。どの木棺も銅釘が使われている。この墓の形態は、ジャファンを用いて家型の墓室をつくり、その中に木棺を収めたものとみられる。昭和四十七年に運び込まれた墓が安置されており、百按司墓本来の形態を失わしめている。

(2) 第二墓所

東側から二番目の墓所で、高さ一・六m程の石垣を積み、二・八mと一・八mの二面でL字型に囲ってある。内部には、くされかかったジャファンの柱や板が十本程残っている。木棺の骨組みに使われた約六〇cmの材木がある。墓所の中で、墓内部の崩壊が最も進んでいる。そこにも、昭和四十七年に運び込まれた五基の墓が並べられている。

(3) 第三墓所

東側から三番目の墓所で、正面二・九m、奥行二・九m、高さ一・五mの石垣を、上からみるとL字型に積んである。石垣内部には、ジャファンを用いて



百按司墓の三墓所

和四十七年に入れられた五基の墓が置かれている。

文献にみる 百按司墓

百按司墓のことを直接記した文献に「中山世譜」(一六九七年)がある。それと同じ内容を記したのが「球陽」(一七四五

年)である。尚忠王の条に、「尚徳王、驍傲奢侈ニシテ宗ヲ覆ヘシ祀ヲ絶ツ。是レニ由リテ貴族ノ徒皆世ヲ通レテ隠ル。即チ今帰仁間切下運天村ノ所謂百按司墓ハ其ノ貴族ノ墓ナリ。墓内枯骨甚ダ多シ。又木龜数個有リテ以テ屍骨ヲ藏ス。修飾尤モ美、皆巴字金紋ヲ銘ス。而シテ一個ノ稍新シキ者ノ壁ニ字有リテ云フ、弘治十三年九月某日」とある。

除葆光の「中山伝信録」(一七二一年)の山北省今帰仁運天のところに「山北王ノ墓アリ、土人呼テ百按司墓トス」とある。「中山世譜」や「中山伝信録」が編纂された当時に、百按司墓の名称で呼ばれている。前者では、尚徳王が驍傲奢侈であったことで王位を失い、通世して行った一族を葬った墓だとしている。木龜数個、巴字金紋、弘治十三年九月某日が確認されており、それに基づいて「其の遺族、尚真代に至りて老尽せしならん」と考察を加えていることは注目すべきことである。このように、尚徳王の遺族を葬った墓だとする一方、後者では北山王の墓であると見る見方がすでにあった。明治になると、「沖繩巡回日誌」(明治十四年)に記されているように、樊安知が滅ぼされた(北山の滅亡)時の、戦死者

達の遺骨である。あるいは、島津侵入(一六〇九年)の時の戦死者達の遺骨であるとする言い伝えがあったことが知れる。歴史的事件と結びつけられた二つの言い伝えは、百按司墓やその回りの古墳に葬られている数多くの人骨と結びつけたもので、根拠の乏しい見解である。尚徳王の一族を葬った墓であるのか、それとも北山王の一族の墓であるのかについては、明治時代から議論されている。「沖繩巡回日誌」(明治十四年)では、「両説未ダ何レカ是ナルヲ知ラズ」と結論を出していない。翌十五年の「沖繩県下今帰仁間切白骨埋瘞ノ件」で、「世譜球陽等二記スル所ハ謬妄ニシテ口碑却テ正鵠ヲ得ルヤニ被存候」と考案し、結論として「山北王家の墳墓ナルハ明瞭」としている。

百按司墓を文献でみてみると、尚徳王の一族を葬った墓であるとする見解と山北王の一族を葬った墓であるとする見解に分かれている。

百按司墓が、どのような歴史的背景を持つのか、また、どのような人たちが葬られているのか。どのように決するかは、今後の調査研究を待ちたい。が、その手掛りは、やはり「木棺・木棺にあった巴字金紋・弘治十

三年九月・えさしきやのあし」にあるとみている。

今後の課題

三墓所の現況と文献にあらわれた百按司墓についてみてきた。その百按司墓が、歴史的にどのような位置づけられるか興味深いものがあり、今後の研究課題でもある。

百按司墓のことを直接記した文献は、「中山世譜」(一六九七年)や「球陽」(一七四五年)の尚忠王の条であった。その内容は、尚徳王の一族を葬った墓であると述べている。尚徳王の条にはその一族「王妃・乳母・世子を擁護して以て乱難を避け、皆真玉城に隠る。軍兵追ひて之れを弑し、遂に之れを王城巖下に葬る」などとあり、その一族が運天の地に葬られたとする記述はみあたらない。「世譜」や「球陽」の編者は、何故尚忠王(在位一四四〇〜一四四四年)の条「山北監守の制を定む」の後に、その記事を入れたのか。編者が北山の第一監守(一四二二〜一四二九年)を仰せ付けられた一族のものであることを強調するためではないかと思われる。百按司墓の木棺のひとつに「弘治十三年九月」とあったこ

とは、「世譜」・「球陽」・「国頭郡志」(島袋源一郎)・「琉球の歴史」(東恩納寛惇)で確認されている。その年号に視点をあててみると、一五〇〇年(尚真王二十四年)である。北山では、第一監守時代や尚徳王没から三十一年後にあたる。その年号のあった木棺は、少々新しいものであったというから、古いのは、一五〇〇年以前のものともみられ、北山の第一監守時代や尚徳王の没年に近づいてはくる。しかし、今のところ年代を決定するに足る十分な史料が出ていない。

木棺にあった「巴紋」が使われ出した時代、また「えさしきやのあし」の「えさしきや」の村落名表記がなされていた時代を究めていくことで、百按司墓の年代決定も十分可能とみられ、その視点からのアプローチもなされなければならない。

次に、墓の形態からみると、百按司墓の本来の形態は、自然の洞穴にジャファンを用いて家形の墓室をつくり、その中に木棺を安置するものである。陳侃の「使琉球録」(一五三四年)に「王及び陪臣の家の若きは、則ち骸匣を以て山穴中に藏し、仍ほ木板を以て小扉戸を為り、歳時の祭掃には則ち啓鑰して之を視る。蓋し木朽ちて骨暴露するを恐るるなり」とある。これは、

王やその一族の骸匣(骨を入れる箱)を山の穴にしまい、木で小さな窓か出入口をつくり、祭や掃除の時に開けて視たとい、木が朽ちて骨が暴露する恐れがあるという。「木板を以て小扉戸を為り」とあるのは、人骨を入れた箱に小窓をついたのか、それとも墓室に、小窓や出入口をつくったのか、はつきりしないが、百按司墓の本来の形態を彷彿させるものがある。一六〇六年の夏子陽の「使琉球録」に「今に至るまで改めず」とあり、当時にも、そのような形態の墓があったことがわかる。一五三四年、あるいは一六〇六年に冊封使によって確認されていることは、百按司墓を歴史的な位置づけをするうえで重要である。

このようにみてみると、百按司墓は、一六世紀初期に位置づけることも可能であり、その墓の持つ意義は大きく、百按司墓本来の形態の保存、辛じて残っている漆塗りの木棺や他の木棺の保存対策は急を要し、本格的な調査研究がなされるべきである。

村文化財保存調査委員

仲原 弘 哲

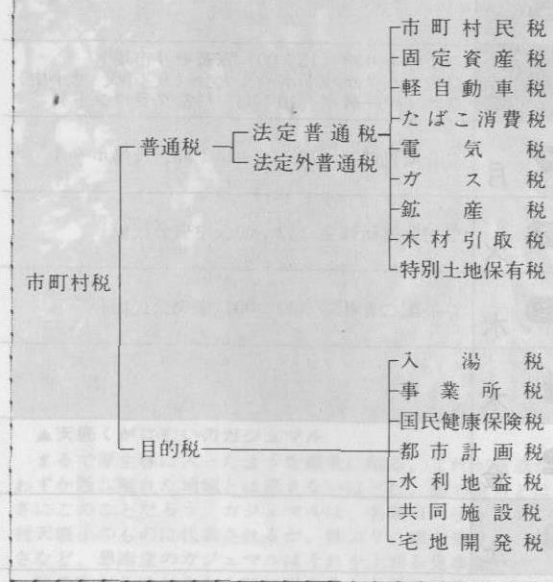
住民税のあらまし……①

住民税とは
 県や村の仕事は、わたくしたちの日常生活に直接結びついた身近なものばかりですから、そのための一般経費も多く多くの住民が分担することが望ましいわけです。住民税はこのように地方税の性格を最もよく表わしている税金で、一般に県民税と村民税とを合わせて住民税とよばれています。実際に住民税を負担する方は下記のとおりです。

- 納税義務者**
1. 村内に住所を有する個人、……均等割額及び所得割額。
 2. 村内に住所を有しないが事務所、事業所、又は家屋敷を有する個人……均等割のみ
 3. 村内に事務所又は事業所を有する法人（人格のない社団等で代表者又は管理人の定めがあり、かつ収益事業を行うものを含む）……法人均等割額、法人税割額。
 4. 村内に寮等を有する法人で村内に事務所又は事業所を有しないもの……法人均等割のみ
 5. 村内に事務所、事業所又は寮等を有する法人で社団又は財団で代表者又は管理人の定めのあるもの（3に該当するものを除く）……法人均等割のみ

※村内に住所又は事務所等があるかどうかはその年の1月1日現在の状況で判断されます。

市町村税の体系



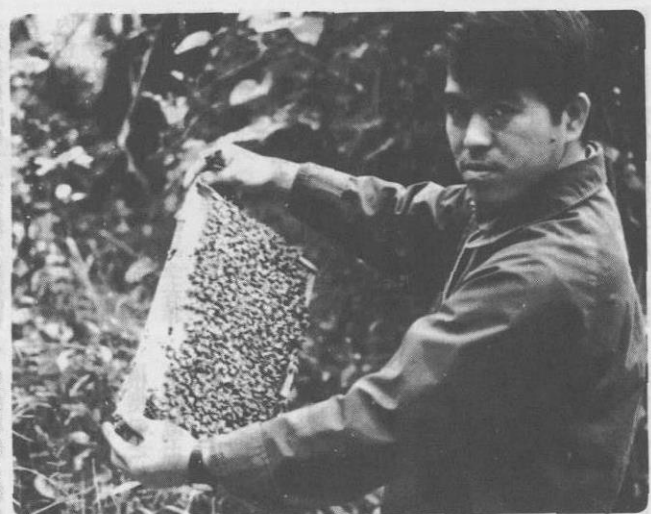
税金は、国や県、市町村が仕事をするための大切な財源であり、どうしても負担しなければならぬ社会共通の経費であるといえます。所得税の確定申告は、納税者が自ら一年間の所得とその税額を正しく計算し、正しい申告と納税をされるようお願いいたします。

なお、納税者の便宜を図るため村役場においても確定申告の受付を行っています。また、確定申告の納税相談は、二月二十日十時～十六時まで役場ホールで行います。さらに商工会員を対象にした決算説明会を二月八日、申告書作成説明会を二月十四日それぞれ中央公民館で行います。

若き後継者たち

19

未知の世界・養蜂にいとむ 湧川の玉城正富さん



蜂は一度刺して死ぬ……と、かのM女は名言を残して去った。もともと一度刺して死ぬのは純粋の蜜蜂だけで、その蜜蜂もそれを知ってか知らずか、めったに刺すことはないという。

村内では数少ない養蜂業の一人、玉城正富さん（三十歳、宇湧川三〇八）を訪ねてみた。正雄さん弘子さん夫妻の四男三女の長男。サトウキビ、パインを手広く栽培した玉城家の長男として、正富さんも幼い時から手伝いをさせられた。それだけに農家の苦勞も喜びも膚で感じ育った。

名護高校普通科を卒業。農業を継ぐ気がなくて、しばらく建設業に携わった。それも会社の倒産で廃業。その時思いついたのが養蜂。丁度四年前のことだ。

花を求めて移動する飼蜂はいかにロマンチックに聞こえるが、現実は大変。村内には同業者が少いため当初は本土から専門書を講入するとともに、自ら中部の農家で働きながら指導をおおいだ。資金は農協近代化資金を活用。約五十センチ四方の箱を蜂の

婦人の年金確立に明るいきざし 国民年金で老後の生活設計を

沖縄県の平均寿命は女性が八一・七二才で全国のトップ、男性は七四・五二才で全国第二位の長寿県となり、今や「一人生八十年」の時代に入ってきました。

このように女性は男性に比べて七年余りも長生きしますので、これからの女性の老後は、夫のいない一人暮らしの生活をしなければならぬ時代になると思えます。

真剣に考えよ女性の老後

長くなった老後の生活をどの

わが国はすべての国民が年金

に加入することによって、老後は誰でも年金がつけられるしくみになっていきます。

ところがサラリーマンの奥さんは希望すれば国民年金に任意に加入することができ、国民年金に加入しなかった人が障害者になったり、高令で離婚した場合は何の年金もつけられないという問題があります。

政府は、すべての女性が自分の年金をもち、十分な年金保障がつけられるようにとサラリーマンの奥さん方を国民年金に強制的に加入させ、年金（基礎年金）を保障することを柱とした年金改革案が出され、いよいよ年金権が確立することになります。

すべての女性に年金を

昭和五十八年分の所得税の確定申告は、二月十六日から受付が始まります。申告期限は三月十五日ですが、期限間近になりますと事務は大変複雑し、おちついて相談できなかつたり、長時間お待ちいただくことになり

税金は、国や県、市町村が仕事をするための大切な財源であり、どうしても負担しなければならぬ社会共通の経費であるといえます。所得税の確定申告は、納税者が自ら一年間の所得とその税額を正しく計算し、正しい申告と納税をされるようお願いいたします。

なお、納税者の便宜を図るため村役場においても確定申告の受付を行っています。また、確定申告の納税相談は、二月二十日十時～十六時まで役場ホールで行います。さらに商工会員を対象にした決算説明会を二月八日、申告書作成説明会を二月十四日それぞれ中央公民館で行います。

北農定時制 特別募集

「定時制」という高校の制度を知っていますか。それは働く社会人のための夜の学校です。もちろん学習内容も卒業によっても得られる資格も全日制と全く同等です。

中学を卒業して就職している人、高校を何らかの理由で途中でやめた人の中にも今からでも勉強したい、高校卒の資格をとりたい、そして将来の仕事に役立てたいと思っている人も、多いのではないのでしょうか。

このような人々のために開かれたのが、特別募集の制度です。これは志願者が募集定員に満た

ない場合、満二十歳以上の勤労者等に対して、作文および面接の結果と出身中学校長から送付された調査書等で選抜する制度です。

北農農林高等学校では、多くの方々のご応募をお待ちしています。

▼出願資格 出願できる者は、勤労者等で満二十歳（昭和五十九年三月三十一日現在）以上のものとする。

▼出願期間 二月二十二日（水）から二十七日（月）まで。

▼受付時間 午後二時から午後八時まで。ただし受付の最終日は午後三時までとする。

「特別募集」の申し込み方法等、その他詳しいことについては、北農農林高等学校（電話五二一三三三）へお問い合わせください。

自動車税を納めてないあなたへ!



ただいま、自動車税滞納整理月間中、最寄りの銀行、農協、信用金庫等へ納めて下さい。

沖縄県

診療時間が変わりました

今帰仁歯科診療所（字謝名一三九、五六―三〇四）の診療時間が変わりました。火曜日・土曜日の午前の部は九時から十二時半、午後の部は二時から六時まで。日曜日は九時から十二時半まで。

二寄附

光武病院院長の光武俊和氏より、国体準備委員会の発足に際し、協賛費として十萬円の寄附が同委員会にありました。ご芳志ありがとうございます。

確定申告はお早めに 二月十六日から三月十五日まで

昭和五十八年分の所得税の確定申告は、二月十六日から受付が始まります。申告期限は三月十五日ですが、期限間近になりますと事務は大変複雑し、おちついて相談できなかつたり、長時間お待ちいただくことになり

税金は、国や県、市町村が仕事をするための大切な財源であり、どうしても負担しなければならぬ社会共通の経費であるといえます。所得税の確定申告は、納税者が自ら一年間の所得とその税額を正しく計算し、正しい申告と納税をされるようお願いいたします。

なお、納税者の便宜を図るため村役場においても確定申告の受付を行っています。また、確定申告の納税相談は、二月二十日十時～十六時まで役場ホールで行います。さらに商工会員を対象にした決算説明会を二月八日、申告書作成説明会を二月十四日それぞれ中央公民館で行います。



2月1日
3月3日

村民カレンダー



| | | | |
|-------|--|-------|--|
| 2/1 水 | ○心配ごと相談 (13:00、中央公民館) ○乳児健診 (13:00～、役場ホール) | 17 金 | ○1歳半健診 (13:00～14:30、役場ホール) |
| 2 木 | | 18 土 | ○健康相談 (8:30～12:00、保健婦室) |
| 3 金 | | 19 日 | ○子ども映画劇場 (14:00、中央公民館) ○ホッケー教室 (10:00、村営グラウンド) |
| 4 土 | ○健康相談 (8:30～12:00、保健婦室) ○文化講演会 (15:00、役場ホール) | 20 月 | ○定例区長会 (14:00、役場会議室) ○社会教育委員会 (14:00、中央公民館) |
| 5 日 | ○ホッケー教室 (10:00、村営グラウンド) | 21 火 | ○交通事故巡回相談 (10:00～、役場ホール) |
| 6 月 | ○定例区長会 (14:00、役場会議室) ○村公連役員会 (16:00、中央公民館) | 22 水 | ○生花教室 (14:00、中央公民館) ○移動心配ごと相談 (13:00、兼次公民館) |
| 7 火 | | 23 木 | ○体育指導員会 (18:00、中央公民館) |
| 8 水 | ○心配ごと相談 (13:00、中央公民館) | 24 金 | |
| 9 木 | | 25 土 | |
| 10 金 | ○人権相談 (10:00、中央公民館) ○子豚セリ市 (13:00、家畜セリ市場) | 26 日 | ○子豚セリ市 (13:00、家畜セリ市場) ○少女バスケットボール大会 (9:00、湧小中) ○ホッケー教室 (10:00、村営グラウンド) |
| 11 土 | ○建国記念の日 | 27 月 | ○3歳児健診 (13:00～14:30、役場ホール) |
| 12 日 | ○第3回村庭球選手権大会 (9:00、北山高校) ○茶道教室 (14:00、中央公民館) ○ホッケー教室 (10:00、村営グラウンド) | 28 火 | ○村公連研修会 (13:00、中央公民館) |
| 13 月 | | 29 水 | ○心配ごと相談 (13:00、中央公民館) |
| 14 火 | | 3/1 木 | |
| 15 水 | ○心配ごと相談 (13:00、中央公民館) | 2 金 | |
| 16 木 | ○肉用牛セリ市 (12:00、家畜セリ市場) | 3 土 | |

■梅雨を思わせるうっとうしい日が続く。農家・建設業者など外で働く方にとっては天をも恨む気持ではなからうか。それでも野山に桜が咲いた。華麗な花は沈んだ身や心を楽しくさせる。冬去れば春は確かにやってくる。

■米軍基地空港建設問題で都下三宅村がゆれた。噴火で被災した島を空港建設でうるおすのだという。基地の代償として失ったものがあまりに大きい沖繩から見ると納得できない話したが、当初村議会で誘致決議がされたものの、大部分の住民の怒りの反対運動により白紙撤回されることになった。紆余曲折様々な思惑があっただろうが、核が世界的に問われる中、地域で起こった平和運動の意義は大きい。

■新年度の子算編成の時期。最小の子算で最大の効果を——が今年の合い言葉のようだ。厳しい財源で事業の選択をするのはより困難なこと。でも「赤字解消は増税で」というのは、あまりに短絡すぎるような気がする。

